

大学等名：京都光華女子大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

アクティブラーナー育成のための学修支援体制づくりとして、以下の4領域に取り組む。①授業の予習復習を課題化して、授業外学修の時間を確保し、授業の習熟度を高める。②授業外での課題学習を支える学習・学修マネジメント支援体制を教職協働で構築する。③ルーブリック等で、学生の自己評価と科目担当教員の客観的評価の両方で学習成果を捉え、学習・学修を点検する。④「光華AL」アセスメントを構築し、自律的な学び態度に向けて学習行動の改善を図り、その結果として授業の習熟度を高める。

個々の学生・教職員の責任にせず、組織として実現させる仕組みを構築

領域 A

授業改革（授業形態のAL化）

全学共通科目における本学ALの推進

- ① **予習復習の課題化の徹底**
- ② **学生が考え調べたことを口頭発表する学びの徹底**

領域 D

指標によるAL態度の把握

「**光華アクティブラーニングアセスメント**」

学習姿勢を4水準で評価

- ① 教員主導のAL ② 教員と協同のAL
- ③ 学生自身のAL ④ 他者のAL化

領域 B

授業外学修改革

多様な学習ニーズに応える環境整備、専任スタッフの個別学習サポート体制

- **学習ステーション** ■ 学科コモンズ
- 情報教育センター ■ 図書館

領域 C

学修成果の可視化

① **セルフチェックシート**
授業・授業外の予習・復習等を学生が自己評価

② **ルーブリック**
授業の目標と評価基準の達成度を明確化

学習支援会議

情報提供

情報提供

企業等の有識者

外部評価

成果報告

出身校

就職先
企業等

各領域の評価指標	26年度	28年度(目標値)	30年度(目標値)
領域 A 必修科目の授業形態のAL化	25.9%	60%	60%
領域 B 授業外支援機関と協働で授業デザインの科目履修率(科目数)	1年生100% (2科目)	1年生100%、2年生キャリア形成学部100%(計5科目)	1年生100%、2年生キャリア形成学部100%(計8科目)
領域 C 必修科目におけるルーブリックの導入	1.4%	36.7%	100%
領域 D 光華AL水準の向上の把握率	光華AL水準の把握法の開発	キャリア形成学部100%	全学部100%

・平成26年度学部改組後の推進期として今後、各学科の国家資格試験の合格率向上や日本の女性教育の改革を加速できる。
・授業時の各担当教員の指導に加えて、教職協働によるボトムアップでの組織的な学習支援体制が構築できる。